

講義名	生涯スポーツ論		
科目区分	教養一般		
担当教員	天田 英彦		
開講期・曜日・時限	後期 木曜日 4時限		
	2018年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2018年度 人間社会学部 観光学科 / 2018年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2018年度 経済学部 経済情報学科 / 2018年度 経済学部 経済学科 / 2018年度 商学部 マーケティング学科 / 2018年度 商学部 経営学科 / 2017年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2017年度 人間社会学部 観光学科 / 2017年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2017年度 経済学部 経済情報学科 / 2017年度 経済学部 経済学科 /		
履修開始年次	1年生	単位数	2
		講義コード	44013

主題と概要

スポーツは、これまで自由時間の活用、健康の維持増進、身心のストレスの解消等その価値が強調されてきた。高度に発展した産業社会や大衆社会状況から、国民がスポーツへの依存が強まったことから何うことが出来る。スポーツ需要・消費行動、それに呼応する供給サイドであるスポーツ市場、スポーツ産業の動向が注目されている。また、運動やスポーツを奨励することは、国民の健康水準を高める。そのことから国民の医療費の削減、生産性の向上といった経済効果が認められるようになった。

この科目では、注目を浴びる生涯スポーツを取り上げスポーツの需要・スポーツ市場・スポーツ産業について社会状況と絡めて学習する。

到達目標

生涯において、スポーツ活動を実践する事を目標とする。

提出課題

講義中に数回のレポート課題の提出がある。

評価の基準

- 1, 2 / 3以上出席しないと単位認定をしない。
- 2, 講義中に4回のレポート課題の提出を求める。レポート点は1回20点満点とする。
- 3, 単位取得には、2 / 3以上の出席と60点以上のレポート点が必要である。
- 4, レポート点が60点に満たないものは、期末に補講を行うので受講すること。

履修にあたっての注意・助言他

- 1, 講義開始時間に毎回出席カードを配布する。遅刻者は、正当な理由がない限りカードは配布しない。
- 2, レポート課題は、不定期に行う。当日欠席した場合は、レポート提出機会を失う。
- 3, 教室内に入ったら、脱帽し私語をしない。また、飲食物はカバン等に入れること。

教科書

・<教科書> ・必要に応じ講義時間中に配布する。

プリント資料及び参考文献

適時、配布する。

授業計画

- 1 生涯スポーツ論を学ぶための基礎知識と講義の進め方
- 2 現代社会と生活環境
- 3 スポーツ生涯教育の理念
- 4 健康問題・高齢化に見る社会背景
- 5 スポーツ行政の現状と課題
- 6 スポーツに対するニーズの変化
- 7 スポーツ消費行動の変化と需要分析
- 8 前半のまとめと中間試験
- 9 スポーツ産業の現状と課題
- 10 スポーツ・イベントの効果（プロ、アマ）
- 11 企業フィットネスクラブの現状
- 12 スポーツ産業における人材育成
- 13 地域における健康づくりの実態
- 14 スポーツ経済統計の活用
- 15 まとめ（試験）

予習・復習

予習
自分の住む地域のスポーツ振興プランを調べ、行政が行っている活動を理解する。
行政が行っているスポーツジム等を見学し、実際に行われているプログラム等を資料として持つこと。

復習

備考

なし。